

# 日中シャトルバス アンケート調査結果 概要

昨年度12月から1月にかけて、運転免許証自主返納者および送迎バス利用パスカード所持者（新木・布佐地区）を対象に実施した「日中シャトルバスに関するアンケート調査」より一部の結果をまとめました。

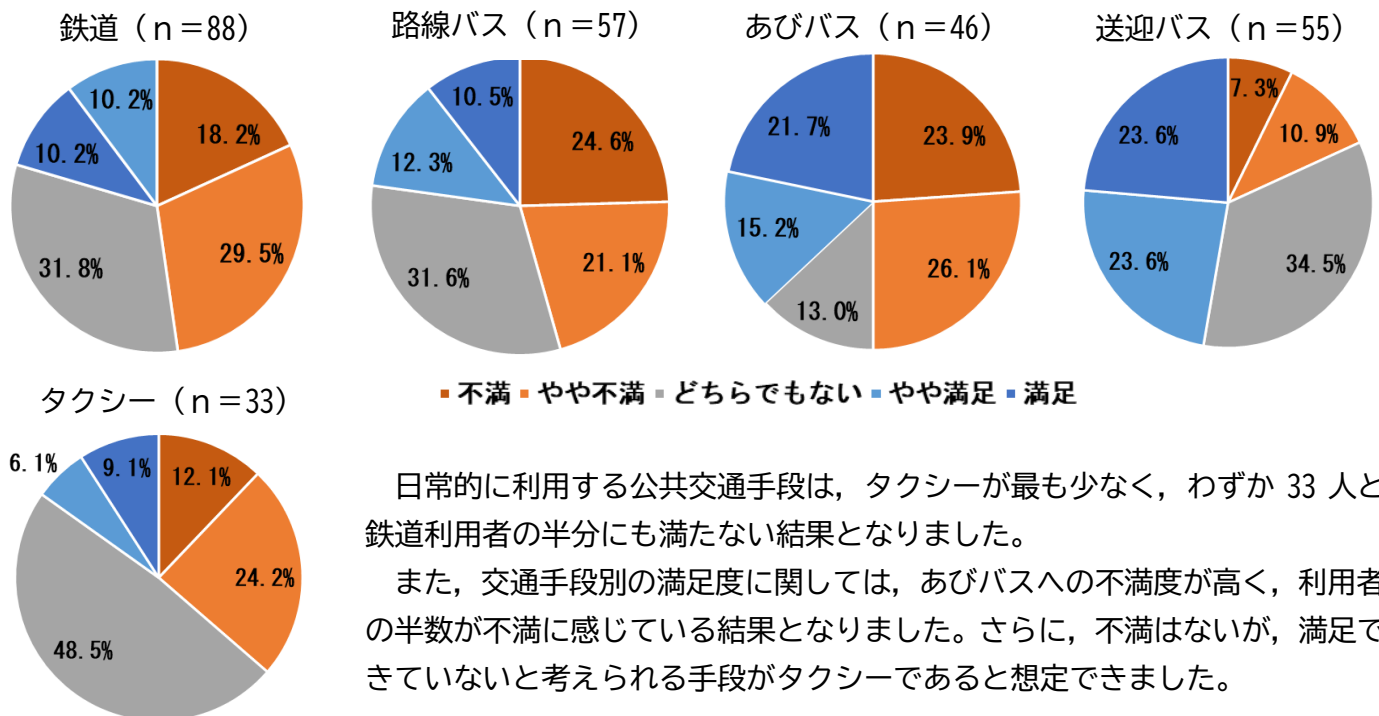
## 調査概要について

- アンケート調査内容：日常移動手段やシャトルバスの利用意向について
- アンケート調査方法：郵送配布（交通課実施）、郵送回収（日本大学実施）
- アンケート回収結果：107部（回収率41.4%）

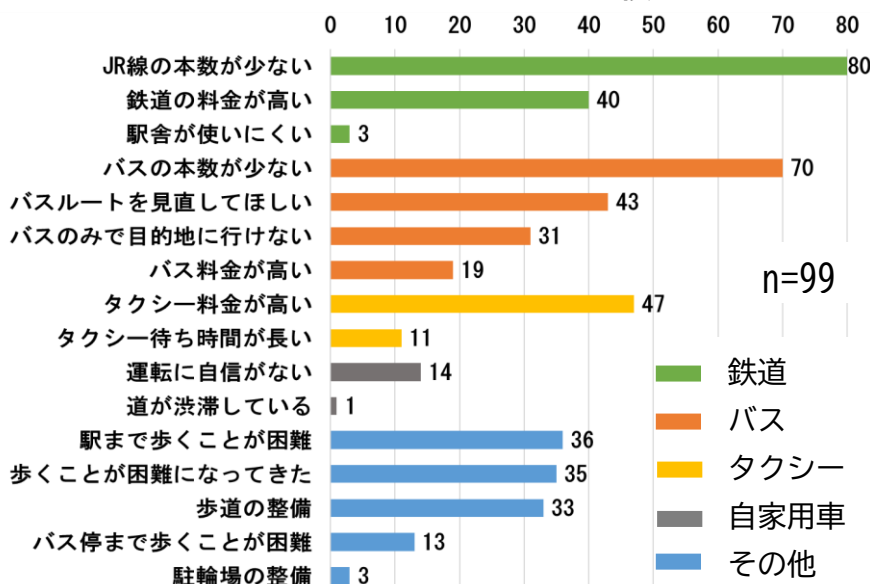
## 調査結果について（一部抜粋）

### 市内交通についての現状

### 利用交通手段とその満足度（複数回答）



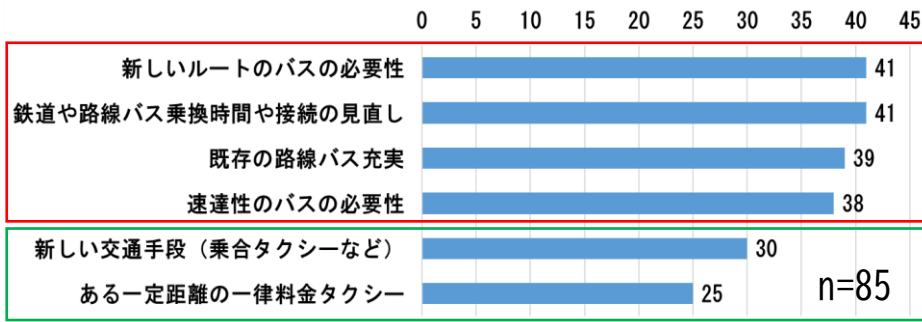
### 日常で交通に関して感じる事（複数回答）



日常で交通に関して感じる事については、鉄道・バスでは、共に「運行本数が少ない」との意見が70件以上の結果となりました。一方、タクシーに関しては、「料金が低い」と感じる意見が約50件でした。

その他、アンケート回答者の健康問題や歩道・駐輪場の整備状況などにも関心を寄せている結果であることが示されました。

## 新しい交通施策について（複数回答）

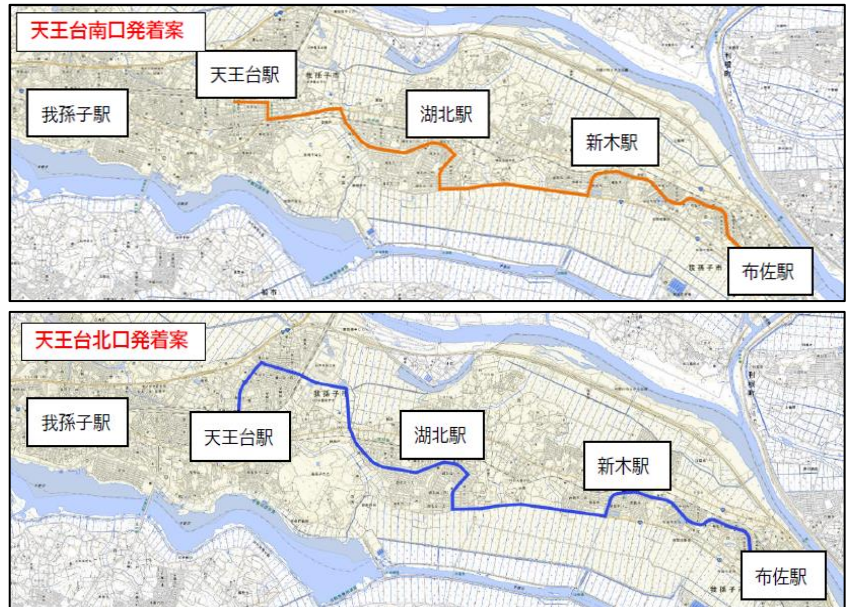
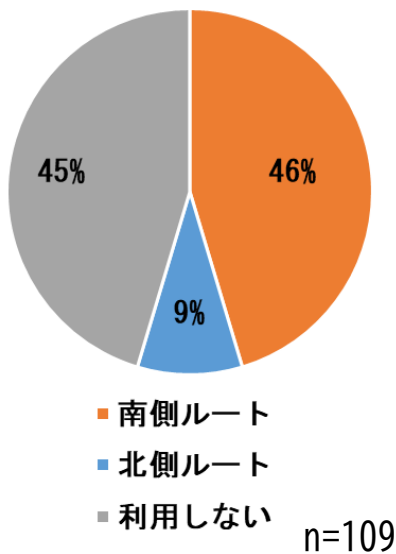


新しい交通施策については、タクシーに関すること（緑枠）がいずれも 30 件以下に対し、バスに関すること（赤枠）はいずれも約 40 件の回答でした。つまり、タクシーに比べ、バスに関する施策への期待の方が大きいと想定できる結果となりました。

以上より、鉄道・バスに関しては、特に「運行本数に関する利便性の改善」、タクシーに関しては、「料金面に関する利便性の改善」が課題であると想定できる結果が示されました。

## 日中シャトルバスについて

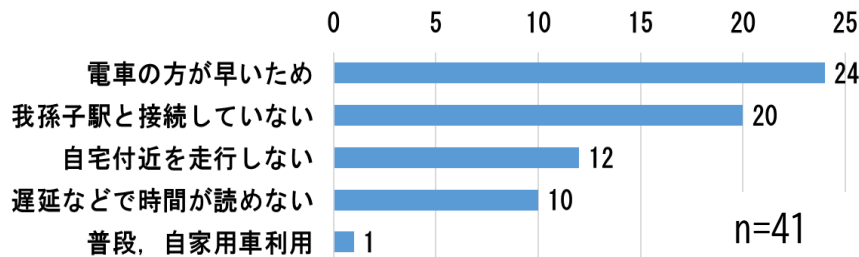
### 日中シャトルバス案の選択（天王台南口 or 北口発着）



日中シャトルバス案については、上記の通り、天王台駅南口発着と北口発着の 2 案ありましたが、「南口発着のルート」が約 5 割を占める結果となりました。

一方で、「日中シャトルバスそのものを利用しない」という回答も 45%と、約半数の人が利用意向を示さなかった結果となりました。

### 日中シャトルバスを利用しないと回答した理由



上記のような回答結果が得られた理由としては、「目的地点までの速達性（24 件）」や「鉄道との接続性（20 件）」に関する理由などが、多く挙げられたことが影響していると考えられます。

以上より、市内の交通利便性を図ることを目的に、日中シャトルバスの導入を検討する場合は、住民の利用意向の有無が最も重要であると考えられる結果となりました。

また、今後も、既存の交通手段における利便性向上に対して、重視する必要があると考えられます。